

なでられるとね

あい
愛 あいか



STORY

ネコのラミは、人間のおとうさん、おかあさん、二人のおねえちゃん、あいちゃんといっしょに幸せに暮らしています。ある日、おねえちゃんたちと遊んでいて思わず、かぎのあいている窓から外へ出てしまいました。家の周りを散歩してから家にもどると、みんなが心配してさがしてくれていました。ラミは、あいちゃんは自分と似ていて人が怖いみたいだと心配しながら、寝ているあいちゃんをなでて安心させようとしています。



あい
愛 あいか

39才 主婦 神奈川県小田原市

受賞のことば

この度は、素敵な賞を頂き驚きと興奮で胸がいっぱいです。このお話は、昔飼っていたネコのラミがモデルになっています。家の外に出てしまっても、いつも絶対に帰ってくる。それはきっと、家族に沢山なでてもらっているからだと思い、そんな温かい場所を描きたくて制作しました。これからも、心に残る作品を目指して絵本を作っていきたいです。

審査員コメント

ラミという名前をもらって、このうちで暮らしているネコの「わたし」が語ります。おとうさんのこと、おかあさんのこと、子どもたちのこと……。みんな、なでてくれます。ネコの視点で家族の日常を描いて、おだやかで、ぬくもりのある絵本ができました。

宮川 健郎